

目 次

〔 口 頭 発 表 要 旨 〕

インダス川中・下流域～タール砂漠西部における先史時代石器群の様相 －3D計測にもとづくコア・リダクションの検討－ 野口 淳・千葉 史・横山 真・Q.H.マッラー G.M.ヴィーサル・下岡 順直・N.シェイフ・近藤 英夫	3
出土骨の安定同位体比分析によるアナトリア先土器新石器集落の食性と動物利用 板橋 悠	7
エジプト先王朝時代のフリント製小型ドリルに関する実験考古学的検討 長屋 憲慶	12
土器焼成の比較民族誌 ー熱履歴に着目した比較検討ー 齋藤 正憲	16
民族考古学的アプローチによる古代エジプトの皮革技術の復元 花坂 哲	21
アク・ベシム遺跡出土のヒツジ距骨とキルギスの伝統的遊戯チュコ 安倍 雅史・新井 才二	25
古代パルミラ人の復顔と葬送用彫像 西藤 清秀・中橋 孝博	29
MAR.TU/ <i>amurru</i> によるディルムンへの進出 堀岡 晴美	33
シリアの文化財保護への国内外シリア市民の取り組み ーAPSA (The Association for the Protection of Syrian Archaeology) の活動ー 山崎 やよい	37
エジプト先王朝時代における泥岩製品からみた流通システムの変遷 竹野内 恵太	40
エジプト古王国時代における建設労働者組織編成の変遷 山田 綾乃	44
エジプト新王国時代における土製シャブティ製作の様相 南澤 武蔵	48
エジプト、ルクソール西岸ウセルハト墓 (TT47) の平面形式について 柏木 裕之	52

南コーカサス後期旧石器時代の様相 –グルジア、パラヴァニ遺跡の発掘–	有村 誠	56
ハラッパー式土器の編年からみたインダス文明社会の展開	上杉 彰紀	58
アラビア半島青銅器時代土器群の研究 –オマーン北部イブリ県バート地区における 2013-14 年一般調査の成果から–	三木 健裕・野口 淳・近藤 康久	62
中央アナトリア、中期青銅器時代における青銅製品について	常木 麻衣	67
北レヴァント地方沿岸部にみられる鉄器時代祭祀遺構とその意義	西山 伸一	70
ウム・カイス遺跡、F16・G16 グリッドにおける層位学的研究	平山 優	72
〔ポスター発表要旨〕		
P 1 ウズベキスタンのムステリアン遺跡、アングラク洞窟の発掘 西秋 良宏・O.アリプジャノフ・R.スレイマノフ 仲田 大人・三木 健裕・新井 才二		79
P 2 ガーナにおける製革・鞣製工程 –古代技術復元のための民族誌–	花坂 哲	80
P 3 インダス川源流部におけるダム建設に伴う文化財水没問題 –ディアメル・バシヤ・ダム水没予定地域について–	野口 淳・M. ザヒル	82
P 4 南コーカサスにおける新石器時代の打製石器技術 –ハッジ・エラムハンル遺跡の展望–	門脇 誠二	83
P 5 ビシュリ山麓における中期青銅器時代ケルン墓群の年代について	足立 拓朗・藤井 純夫	84
P 6 神奈川県横浜市原宿町遺跡出土「パレスチナ」銘文入り西洋磁器について	三戸 芽	86
P 7 エジプト・ダハシュール北遺跡出土「ビール壺」の分類と年代	矢澤 健	87
P 8 PPNB 文化の南進フロンティア –ヨルダン・サウジの分布調査に基づく新たな展望–	藤井 純夫・足立 拓朗	88
P 9 シリア内戦下における被災文化遺産の現状	安倍 雅史・間舎 裕生	89